

幼稚園の主任といふ事について

坂 内 ミ ツ

一、主任とは何ぞや

我が國に於て幼稚園を創設されたのは明治九年で現在の東京女子高等師範學校に附設されたのである。爾來長足の進歩を見せ數に於ても實質に於ても大に見るべきものがある。然れども其多くは小學校又は高等女學校等の附屬である。殊に公立の幼稚園は其殆んどが附屬といつてもよいほどである。たゞ獨立した建物を有して居る幼稚園に於て尙且つ園長は小學校長であつて實質に於ては全くの附屬である。かように進展して來た原因は何處にあるかと考へて見るに第一は創立が附屬であつたため、それに習つた事、第二は普及にあせり過ぎた爲、第三は經濟上の關係からである。現今は既に第一第二を考慮する必要がないのに尙新設される公立が殆んど附屬であるのは第三に依るもの

である事は何人も肯定さるゝ處である。こゝに於て主任の必要が生ずるのである。即ち園長は本校の事に忙はしく附屬の仕事はほんの附屬として主任に任せねばならぬので主任の必要は當然過ぎる事である。故に獨立して居る幼稚園では主任の必要は毫もなく園長自ら實務をとれば充分である。殊に幼稚園といへば僅かに四五人の職員であるのに園長の下に主任を置く必要はない筈である。然るに現在私立の幼稚園でさへも園長の下に主任を置くのはたゞ傳統によつて居るか或は有名無實の園長である事を物語つて居るのではあるまいか。

二、主任の任務

園長は名のみにして實際に關與せずとすれば主任の任務は且つ重大である。主任は自分の受持つ幼児の責任を負う

のは勿論、全體の責任を負はねばならぬがしかし外面上の責任は負ひ得ないのである。而して事務も取らねばならず計劃も立てねばならぬのである。處が全力を盡して新計劃を立てても、それは一々園長の決裁を経ねばならぬのである。盲目印を捺して下さる方はまだよいとして一々詮議立てをされるばかりでなく頭から否決されたり或は優柔不斷裁決を與へず引づられたりすれば折角の熱も冷めてしまい眞剣にやる氣が失せてしまう。こんな状態が度重なれば計劃も立てず研究も薄らいで行くのは已を得ない事である。保護者に對しても困る事がある。幼児の日常について或は入園入學等の事について相談を受けねばならぬのは主任である。懇談の必要を感じるのは擔任保姆や主任である。然るに父兄の内にも日常生活を見ず園長のみを信頼する人もあれば園長にのみ責任を負はせんとする人もある。日常の様子をば存じない園長は迷惑此上もない話であるが職務上答辯しないわけにも行かず、其御子さんには直接關係のない一般的の挨拶をさるゝか又は受賣である。熱誠のこもつた話の出来る筈がない。之を聞いて居らねばならぬ主任は

心苦しいものがあるのである。又毎日のやうに様子を見て居る母姉は只管に主任を信用して何もかも相談される人もある。こうした方には適切な懇談も出来るわけではあるが園長をないがしろにするやうでこれ亦心苦しいわけであるまいか。職員其他の人に對してもその通りである。園長が居らるゝのに一々命令を下すわけにも行かず皆へも園長の如くに考へぬのは當然の事である。以上の如くであるとすれば主任の仕事は自分で責任を負ひ得ず權利も與へられてない板ばさみの形である。幼稚園が進歩せぬとか研究心に乏しいとかいはれる原因は大にこゝに起因するのではあるまいか。はじめの意氣込は次第次第にうすらぎ優柔不斷事勿れ主義に移つてしまう。然らずんば研究心は苦しい心勞に化して其任に堪へなくなるわけである。

三、主任の必要なし

かういふ状態にある事既に久しき今日尙顧られないのは不思議であるが、女子の園長は數ふる程もなく視學其他の上司に一人として女子を採用されてないのであるから主任

の心理などわかつた人のないのは無理ならぬ事である。

せめて園長だけは、女子にさせて貰いたいものである。岡山市は何事にも先鞭をつけ文化の魁をされると聞いて居たが果して市立の園長は全部女子である。而して幼稚園と學校とが密接な連絡をとられ低學年教育に一大進路を開いて居らるゝのは暗夜に燈を得た心地である。其上小學校長職員及縣當局の方々が幼稚園に關係した事は何事でも一々園長や保姆に相談される敬虔な態度には敬服せざるを得ないのである。幼稚園教育は理論よりも實際が大切である。

他の學校に於てもそうであるが知識を授けるのが唯一の仕事である高等の學府とは自ら趣の異つて居るものがある事は認めて貰はねばならない。今日何々會社の重役として納まつて居る人も卒業當時は全く職工と同一の仕事をし寢食を共にして其内容實際を研究された、其頭と其經驗とがなければ劃策も命令もされるものでないと聞いて居る。物品を造るにさへ此誠意あるに、大切な人間の基礎教育を司る幼稚園に於ては實際を知らずして直ちに上司になり得るとは受取れぬ次第であると思ふ。實際に對して興味を持つて

居らるゝ男子、研究して居らるゝ理論家は少くないのではあるが、保姆は女子にしてといふ法令に背いてまで保姆の仕事をして居らるゝ男子は殆んどないのであるから、幼稚園教育にたずさはつて居る上司には保姆の仕事保姆の心理が解らぬといふも敢て過言ではないのである。事實斯の如しとすれば先決問題として園長に女子を採用して幼稚園の進歩を計るべきである。従つて主任といふ名稱は全く不要のものとなるのである。

經驗を重ねれば重ねるほど、實際を知れば知るほど疑問百出苦惱の絶間なきは幼稚園である。と一方には他の仕事では得られぬ楽しみを與へられるのが幼稚園實際家の受ける特典である。幼稚園に關係して實際に與らぬ程無意味なものはない。園長も實際を擔任すべきものであつて女子と雖も僅かに百人か二百人を收容する幼稚園の事務を掌り五人の職員の統制がとれない筈がないと信ずるのである。

四、幼稚園の進歩

幼稚園を進歩させる方法はいろいろあるが先決問題の第

一は園長や視學を保姆の中より拔擢して主任を癡す事である。されどこれは言ふべくして行はれ難く當分は理想に留るに過ぎまい。しかし私達はたゞ理想として徒らに實現の日を待つて居るわけに行かない。先づ理想に到達する前提として主任となり園長となるに必要な指導機關、養成機關を設けていたゞき度いと希ふ者である。眞先きに現在の主任だけの講習會なり研究會なりを設けて主任の向上をはかり種々なる迷を解決していたゞき度いのである。文部省其他の講習を受ける度に其感を深くし其聲の大きくなるのを聞くのである。文部省では一般的に多くの保姆を考慮せねばならぬから園長や主任と狭い範圍に限定する事は不可能の事かも知れぬから日本幼稚園協會に御願ひして短期のものでもよいから講習會か研究會を開いて適切な指導をしていたゞき度いと希つて止まぬのである。そうして追々に養成機關を完備していたゞき度いものである。今や保姆養成熱心家を集めて深く高く研究させる事は目下の急務である。現今叫ばれて居る保姆養成期間を二ケ年とする事は時

代に即した要求であるが之にも増して急を要するのは主任の向上をはかり主任の養成をする事である。一日も早く其聲の大きくなる事を希つて止まぬのである。

土川五郎氏還曆記念祝賀會

土川五郎氏が本年還曆に當らるに際し、幼兒教育界の諸氏の發起により十二月四日記念祝賀會を催され、祝賀晚餐會と共に、諸大家の童話、獨唱及び幼稚園兒による土川氏振附の遊戯の會が盛大に行はるゝ由、(詳細本號廣告欄)まことに慶賀にたへない。